

ねないこだれだ

せなけいこ 作・絵



福音館書店 1969年 600円

「こんな じかんに おきているのは だれだ?」「よなかに あそぶこは おばけに おなり」「おばけの せかいへ とんでいけ」「おばけに なって とんでいけ」。独特の布の絵が印象的な、赤ちゃん絵本。こわい話が大好きな子ども達に喜ばれています。おかさんに抱かれて、安心してこわい話を楽しむのに、最適絵本です。「いやだいやだの絵本」シリーズは「にんじん」「もじゃもじゃ」「いやだいやだ」があります。

バナナです

川端誠 作



文化出版局 1984年 534円

「バナナです」という言葉とともに、皮をむいたバナナ、木になっているバナナ、青いバナナ、熟れたバナナ、サルやゾウやカバとバナナ、イヌやネコとバナナが描かれています。男の子と女の子が「ぼくたちもたべようよ」と、おいしそうにバナナを食べる様子が終わります。明るくあたたかい絵が楽しい絵本です。シリーズは「りんごです」「いちごです」などがあります。

ぼくのくれよん

長新太 おはなし・絵



講談社 1993年 1400円

とても大きなくれよんがありました。ぞうのくれよんです。ぞうが青いくれよんでびゅーびゅーかくと、かえるは池だと思って飛び込み、赤いくれよんでびゅーびゅーかくと、動物たちは火事だと思って逃げ出していました。ぞうはらいおんに怒られてしまいますが、まだまだかきたりないみたいでくれよんを持ってかけだしました。ユーモラスな語りと、ダイナミックなクレヨン画が、一体となっています。